

ゴロンタロに昔から伝わる知恵と自然を守るために一私たちにできること

プラスチック製マットによるプラスチック汚染を減少するために環境にやさしいアモンゴのマットを使ってみませんか。

アモンゴ製品の利用は、ゴロンタロ州における持続可能な開発を促進するだけでなく、いくつかの持続可能な開発目標(SDGs)を達成することにもつながります。

アモンゴ製品

アモンゴ製品には、帽子、バッグのほか、農業用マットもあります。



ミッション

アモンゴのミッションは以下の通りです。

- 1 プラスチックの使用を減らす
- 2 プラスチックの使用削減活動へ女性の参加を増やす
- 3 女性のエンパワーメントや働きがいと経済成長、気候変動への対策、パートナーシップといった持続可能な開発目標 (SDGs) を達成する

連絡先

総合地球環境学研究所 (RIHN)
SRIREPプロジェクト
榎原正幸 教授

住所：603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4
Eメール：srirep@chikyu.ac.jp
電話：+81-75-707-2333



ゴロンタロに
昔から伝わる知恵と自然を
今後も守り続ける

アモンゴとは？

アモンゴは、マット製品に使われるパンダンリーフを編みこんで作られる実用的なメッシュを意味する現地語です。

ゴロンタロ州の歴史的、文化的ルーツを、この地域の人々に広く使用されています。

生地と作り方

ゴロンタロは、ドネシアのウェシ島北部に位置し、珍しい工芸品や伝統製品で知られています。アモンゴもこのような製品のです。



アモンゴには、緑色のパンダンリーフをから切り取って乾燥させたものを使います。木の棒を使って大きさを揃えた葉織っていき、マット製品を作ります。



アモンゴのコミュニティ

アモンゴ製品はゴロンタロ州のカユ・ブラン村の海辺周辺に住む女性職人の手で織られています。貧しい生活環境の中にも関わらず、アモンゴを作るということが誇りをもっています。多くの人が、より多くの収入に見込めるプラスチック製のマットに切り替えましたが、今でもアモンゴ製品を作っているのはそのためです。

コミュニティが抱える問題

学校に通っていない子どもの率が高い

ゴロンタロ州に住む人の平均月収はおよそ18,000円で、これはインドネシア平均の21,000円よりもかなり低い金額です。特に農村地域では、3,000円ほどで暮らしている家族も多くいます。

その結果、貧困にあえぐコミュニティの子どもたちは、高校に行くことができず、20%を超える子どもが中学卒業後働き始めます。

危険な金鉱で働く人々

貧困にあえぐコミュニティに住む人の多くは副業として金鉱で働いています。実際、ゴロンタロ州では10,000を超える人が金鉱で働いています。金鉱の労働環境は危険であるだけでなく、周辺地域の水銀汚染の原因にもなっています。



シートからアモンゴマットを織っている職人



アモンゴの原料となるパンダンリーフ



アモンゴマットを織る

なぜ
アモンゴ？

さまざまな環境問題の解決に向けて

私たちは、ゴロンタロ州の人たちと協力して、貧困問題を解決することで、彼らの多様で豊かな文化を守ろうとしています。また、違法な金鉱に起因する森林破壊と水銀汚染の問題を解決する方法を見つけることをめざしています。

私たちは、住人が自分たちで環境を管理することが、本質的に女性の社会的地位の向上につながると考えています。